

## ● 第 11 回パートナー会議が開催されました

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて延期になっていた EAAFP のパートナー会議が、2023 年 3 月 12 日～17 日にオーストラリア・ブリスベンで開催されました。パートナー会議とは、EAAFP に参加するパートナー（政府パートナー、政府間機関パートナー、国際 NGO パートナー等）が集まり、EAAFP における活動を効果的に促進するために議論し、必要な事項を決定する会議のことで、およそ 2 年に一度の頻度で開催されています。

会議では、渡り性水鳥の個体数推定に関する決定書、高病原性鳥インフルエンザ等のモニタリングと影響軽減に関する決定書、ユース活動の主流化に関する決定書などが採択されました。また、国内パートナーシップ及びサイトパートナーシップに関するガイドライン、姉妹湿地プログラムに関するガイドラインも公表されました。ガイドラインについては、現在翻訳を進めており、完成後には環境省ホームページにて公表する予定です。また、サロベツ湿原に、渡り性水鳥重要生息地ネットワークへの参加認定証が授与されたほか、東よか干潟（佐賀県佐賀市）とクバルック湿地（米国アラスカ州）の姉妹湿地提携に関する証書の授与も行われました。

- ・第 11 回パートナー会議に関する情報はこちらから：

<https://www.eaaflyway.net/11th-meeting-of-partners-mop-11/>

- ・環境省による報道発表はこちらから：

[https://www.env.go.jp/press/press\\_01320.html](https://www.env.go.jp/press/press_01320.html)

- ・日本からの参加者による報告はこちらから：<https://youtu.be/r5UpyiQkcS0>



写真 1. 第 11 回パートナー会議の様子。日本からの参加者がサロベツ湿原の参加認定証及び東よか干潟とクバルック湿地の姉妹湿地提携に関する証書を掲げる様子（左）。ガンカモ作業部会コーディネーターの発表の様子（右）。

## ● ネットワーク参加地におけるモニタリングの報告書が公表されました

EAAFP の戦略計画 2019-2028 では、気候変動による渡り鳥とその生息地への影響の把握及び渡り性水鳥

重要生息地ネットワーク参加地間の連携促進が奨励されています。日本では、各ネットワーク参加地において長期間にわたるモニタリングデータが蓄積されており、既存のデータを用いて、気候変動による渡りの動向への影響の把握を行うことができるほか、モニタリングを行う際にも、複数のサイトが連携することにより、より効果的なモニタリングの実施が可能になると考えられます。環境省ではネットワーク参加地におけるモニタリングに関する検討会を開催し、国内のネットワーク参加地で得られたデータを用いて気候変動の影響の把握に関する先行的な解析を行いました。昨年度は、国内のネットワーク参加地へこれまでの成果を共有し、今後の連携協力や課題解決に繋げることを目的とし、これまで議論された内容を整理し、報告書「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・ネットワーク参加地における鳥類モニタリングの現状と課題－気候変動が渡り性水鳥に及ぼす影響の評価のために－」を作成しました。環境省ホームページで報告書の電子版を閲覧できるほか、本ニュースレターにも同封致します。

・報告書の電子版はこちらから：

(全体版) [https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/eaafp/Report\\_on\\_Monitoring\\_Study.pdf](https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/eaafp/Report_on_Monitoring_Study.pdf)

(概要版) [https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/eaafp/Report\\_Summary.pdf](https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/eaafp/Report_Summary.pdf)

また、関連する報告会を以下の日程で開催予定です。皆さん奮ってご参加下さい。

- ・日時/開催方法：2023年9月20日（水）14:00～16:00 オンライン開催（WebEx）
- ・タイトル：国内の渡り性水鳥のモニタリングの現状と課題、及びこれまでの成果から見てきた気候変動の影響について
- ・内容：渡り性水鳥の長期モニタリングの意義とその活用に関する基調講演のほか、事務局から報告書の概要説明、ネットワーク参加地からの事例報告などを予定。詳細は別添の報告会の案内文をご参照ください。
- ・参加登録：<https://forms.office.com/e/x3Kj69tQep>

## ● EAAFP 紹介冊子が新しくなりました

第11回パートナー会議の開催にあわせて、EAAFPの紹介冊子が新しくなりました。英語版の翻訳を行い、日本語版も作成しましたので、環境省の地方環境事務所を通じて、各参加地の担当者にも配布します。また、電子版については、環境省及びEAAFP事務局のホームページにも掲載される予定です。

・英語版及び日本語版の紹介冊子はこちらに掲載予定：

<https://www.eaaflyway.net/eaafp-brochure-reports/>

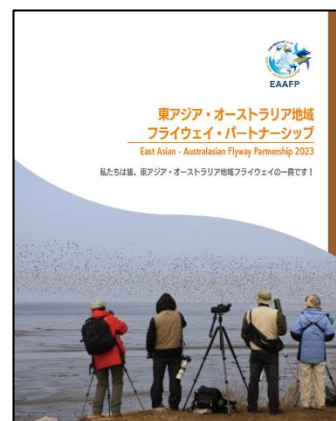


写真3. 新しいEAAFP紹介冊子  
（日本語版）の表紙

## ● 12月に、渡り性水鳥フライウェイ全国大会を開催します

昨年度は谷津干潟において、国内の3つの種群ネットワークを対象とする「渡り性水鳥フライウェイ全国大会」を開催しましたが、今年は12月8日（金）～9日（土）に伊豆沼（宮城県登米市及び栗原市）において、講演会と現地視察を行う予定です。詳細が決まりましたら、皆様にもご案内致します。今回は、6月に新しくEAAFP事務局の事務局長に就任されたJennifer George氏による来日を予定しています。是非皆さんも奮ってご参加下さい。